

2022生態工学会 年次大会プログラム

令和4年6月24日(金)～6月25日(土)

6月24日(金) [国際シンポジウム、年次総会、表彰式、次世代応援シンポジウム、特別講演会]

9:30 参加登録開始 (東京農工大学農学部本館講堂)

9:30- 9:55 Zoom 会議室接続確認

9:55-10:00 開会式

■ Eco-Engineering International Symposium 2022 (農学部本館講堂、ハイブリット)

Theme : SDGs and Eco-Engineering

10:00-10:03 Opening

10:05-10:20 **Agrivoltaic System in Japan**

Akira TANI

University of Shizuoka, Japan

10:20-10:35 **Current Status of MicroAlgal Industries and Research Activities at Microalgae Research Station**

Yasuhiro FURUHASHI, Shinichi AOKI, Takayuki MARUTANI, Junpei NOMURA, Kenji IMOUE

Institute of Microalgae Technology of Japan, Japan

10:35-10:50 **Treatment of biometanated effluent from molasses based ethanol production with an adsorbent prepared from mussel shells**

Sinjai NOSONGNOEN, Tanat UN-ON, Nuttakan NITAYAPAT

Kasetsart University, Thailand.

10:50-11:05 **Treatment of hospital wastewater containing pharmaceutical compounds in activated sludge-constructed wetland system**

Chart CHIEMCHAISRI, Wilai CHIEMCHAISRI, Natthachai NOIPHIM

Kasetsart University, Thailand.

11:05-11:20 **Microbial functions required for resource regeneration in space agriculture**

Ryosuke ENDO

Osaka Metropolitan University, Japan

11:20-11:35 **Live in Space! -Life Support and Material Cycle-**

Masato SAKURAI

Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA), Japan

11:35-12:00 Panel discussion

12:00-13:00 お昼休み／編集委員会(本館2階第4会議室)

■ 年次総会・学会賞表彰式・受賞者講演（農学部本館講堂、ハイブリット）

13:00-13:45	年次総会	
13:45-14:10	学会賞表彰式	
14:10-14:40	学会賞受賞者講演	2022年度 生態工学会 学術賞 遠藤良輔会員

14:40-14:50 休 憩

■ 次世代応援シンポジウム 2022（農学部本館講堂、ハイブリット）

「これまでの参加者らとの対話～NAGOMI 会の活動報告～」

主催：次世代科学社会活性化委員会

オーガナイザー：加藤 浩（三重大）、清水美穂（東京農工大）、横谷香織（筑波大）

司会：清水美穂（東京農工大）

14:50-14:55	挨拶・シンポジウム趣旨紹介	横谷香織（筑波大）
14:55-15:05	NAGOMI 会の話題について（報告）	○加藤 浩（三重大）、清水美穂（東京農工大）、横谷香織（筑波大）
15:05-15:25	パネルディスカッション	パネリスト 土肥哲哉（(一社)日本有機資源協会） 篠原正典（帝京科学大）
15:25-15:35	健康体操	○跡見 綾（東京農工大） 他
15:35-15:45	若手による討論会	
15:45-15:50	終わりの挨拶	清水美穂（東京農工大）

15:50-16:00 休 憩

■ 一般公開特別講演会（農学部本館講堂、ハイブリット）

「循環型食糧（料）生産システムの最前線と社会実装」

司会：土肥哲哉（(一社)日本有機資源協会）

16:00-16:05	開会の挨拶	生態工学会会長、東京農工大学農学部長 船田 良
16:05-17:00	水産における社会実装設備と今後に向けて	生態工学会副会長、玉川大学農学部 先端食農学科 教授 増田篤稔
17:00-17:55	未利用資源からの昆虫生産：食材としての魅力と総合的生物生産に向けて	東京農工大学大学院生物システム応用科学府 准教授 鈴木丈嗣
17:55-18:00	閉会の挨拶	生態工学会副会長、宇都宮大学農学部 教授 齋藤高弘

18:00-18:15 休 憩

■ 情報交換会(連合農学研究科管理研究棟 4F 第 2 会議室)

18:15-19:30

6月25日(土) [口頭研究発表セッション、ポスターセッション、オーガナイズドセッション、閉会式]

8:30- 参加登録開始 (東京農工大学農学部講堂)

■ 口頭発表 (農学部本館講堂、ハイブリット)

● セッション1 [自然エネルギー利用、リモートセンシング、ゼロエミッション、食糧生産]

座長: 遠藤良輔 (大阪公大)、加藤 浩 (三重大)

- 9:00- 9:15 01 遮光下でのサトイモ栽培の実証と営農型太陽光発電への応用
○吉川達馬 (東京大)、鈴木誠 (東京大)、土肥哲哉 (東京大)、吉田好邦 (東京大)、谷 晃 (静岡県大)
- 9:15- 9:30 02 深層学習を用いたバレイショの個数カウントによる収量推定法の開発
○林拓哉(東京大学)、板倉健太(ローカスブルー株式会社)、野秋収平(株式会社 CULTA)、細井文樹(東京大学)
- 9:30- 9:45 03 再エネ利用完全人工光植物栽培における発電量に応じた環境調節
○地子智浩 (電中研)、庄子和博 (電中研)、石井隆 (電中研)、伊藤憲彦 (電中研)、坂東茂 (電中研)、後藤文之 (佐賀大)、比嘉直人 (ネクステムズ)
- 9:45-10:00 04 アオジソ栽培に於ける風による生育促進効果
○坂幸憲 (CKD(株))、高梨季穂、山口夕 (大阪公大)
- 10:00-10:15 05 閉鎖循環式養殖における pH 調整剤がティラピアの成長、生残および飼育水に与える影響
○遠藤雅人, 山老拓巳, 灰野智洋, 杉原大介, 栗原 (松井) 紋子 (東京海洋大学)

10:15-10:30

休 憩

● セッション2 [閉鎖系システム、リサイクル生態工学、物質循環、食品科学、環境教育]

座長: 土肥哲哉 ((一社)日本有機資源協会)、中根昌克 (日本大学)

- 10:30-10:45 06 過酷環境耐性を備えたシアノバクテリアの生存戦略
ー活性酸素除去機能からの検証ー
○鶴田未来 (筑波大)、オン碧 (筑波大)、安部智子 (東京電機大)、加藤浩 (三重大)、横谷香織 (筑波大)
- 10:45-11:00 07 既存の居住実験施設の調査に基づいた月面基地実証基盤施設の設計
○宮嶋宏行 (国際医療福祉大)
- 11:00-11:15 08 微生物処理または熱化学処理による食品廃棄物からの植物栄養塩の回収
○柿並正剛、遠藤良輔、渋谷俊夫 (大阪公立大学)
- 11:15-11:30 09 クリーニングクropp栽培による温室土壌の除塩効果の動的推定モデル
○安武大輔 (九大・高知大)、藤原 拓 (京都大・高知大)、前田守弘 (岡山大)、山根信三 (高知大)、森 牧人 (高知大)
- 11:30-11:45 10 茹で時間と配合比が異なる大麦麺及び小麦麺の物性評価
○野村裕太 (宇都宮大学院)、齋藤高弘 (宇都宮大学)、辻修一 (有限会社辻製麺)、田村匡嗣 (宇都宮大学)
- 11:45-12:00 11 有機的農業を基盤にした文化科学かるたの創成
○新井真由美 (日本火星協会)、加藤 浩 (三重大学)、鈴木利貞 (香川大学)、横谷香織 (筑波大学)

12:00-13:00

お昼休み

■ ポスターセッション

13:00-13:30 ショートプレゼンテーション（農学部本館講堂、ハイブリット）

13:30-14:30 コアタイム（連合農学研究科管理研究棟 4F 第2会議室）

P01 理科教育利用を想定した簡易型クリノスタット

○高瀬由杏(筑波大)、江並和宏(筑波大)、寺尾卓真(横浜国立大)、
古川純(筑波大)、横谷香織(筑波大)

P02 画像認識技術を用いた被験者の健康管理に関する考察

○宮嶋宏行（国際医療福祉大）

P03 フィボナッチと光に支配される植物

○白井風雅（千葉県立千葉中学校）

P04 異なる粉碎の程度がホップの乾燥時間および含有成分に与える影響

○小林裕太(宇都宮大院)、田村匡嗣、齋藤高弘(宇都宮大学)、山下創、
嶋田秀庸(株式会社ファーマーズ・フォレスト)

P05 Physical Properties of Buuz Wrappers using Buckwheat Flour

○Batgerel Solongo (TUAT), Takahiro Saito (Utsunomiya University),
Masatsugu Tamura (Utsunomiya University)

P06 養液栽培でのサンゴ貝砂および給液ノズルの使用と摘葉がミニトマトの生育および収量におよぼす影響

○山口れい(明治大学農学部)、目崎凱己（明治大学農学部）、中林和重(明治大学農学部)

P07 植物工場における光強度がエディブルフラワーの生育および機能性に及ぼす影響

○岩松渚（宇都宮大院）、田村匡嗣（宇都宮大）、齋藤高弘（宇都宮大）

P08 3品種と2規格の夏期アスパラガスの部位特性での特性の調査

○保坂憲紀、田村匡嗣、齋藤高弘(宇都宮大学)、剛谷純(剛谷ファーム)

P09 アスパラガスの温室栽培における防虫ネットの付設と遮光塗料の散布が及ぼす影響

○山村和輝（宇都宮大）、田村匡嗣（宇都宮大）、齋藤高弘（宇都宮大）、
剛谷純（剛谷ファーム）

P10 サンゴ砂礫栽培において培養液中の無機成分の濃度の違いがトマトに及ぼす影響

○堀川菜乃、伊藤汐音、目崎凱己、中林和重(明治大学農学部)

P11 サンゴ砂礫栽培における培養液の窒素・リン・カリウム濃度の高低が中玉トマトの生育や果実品質におよぼす影響

○伊藤汐音、堀川菜乃、進藤圭太、中林和重(明治大学農学部)

P12 ウイスキー製造残渣の土耕ミニトマト栽培への適用

○山本陸、中林和重(明治大学農学部)

P13 貯蔵中における温度や日数が香味菜 CCDD の含有成分に与える影響

○小松崎明里(宇都宮大院)、田村匡嗣、齋藤高弘、房相佑(宇都宮大学)

P15 培養液のカルシウムと硫酸イオンおよびリン濃度の違いが、ミニトマトの生育と品質に与える影響

○目崎凱己、中林和重(明治大学農学部)

- P16 培地量と培地資材の違いが、ミニトマトの生育および果実品質に与える影響**
○進藤圭太、中林和重（明治大学農学部）
- P17 各種培地の違いがミニトマトの生育や収量におよぼす影響**
○大場仁千弥、中林和重、代島莉紗、石原滉士（明治大学農学部）
- P18 植物工場における照射光と栽培品種の違いによるトマト生育の比較**
○村山友莉、山本陸、中林和重（明治大学農学部）
- P19 MS 培地中の異なる C/N 比がトレニアの花成応答に及ぼす影響**
○島田明典（玉川大・院）、渡邊博之（玉川大・院）
- P20 火星開発シナリオとその輸送コストの最小化**
○林 希美（日本大学大学院）、中根昌克（日本大学）
- P21 栽培後期の光質が品種の異なるロメインレタスの生育とチップバーンに与える影響**
○泊由紀子（玉川大学・農学部）、落合紗也（玉川大学・農学部）、Gauri Maharjan (Signify N.V.)、
渡邊博之（玉川大学・農学部）
- P22 閉鎖環境下におけるワサビ栽培システムの検討**
○河合真帆、大石裕美子、中村謙治（エスペックミック株）、和田光生、北宅善昭（大阪公大）

14:30-14:40

休 憩

14:40-15:40

■ **オーガナイズドセッション（農学部本館講堂、ハイブリット）**

「NPO法人の活動による地球環境とエネルギー利用の改善」

オーガナイザー：篠崎正利（NPO 法人蔵前バイオエネルギー、略称 K-BETS）

セッション趣旨紹介

篠崎正利（K-BETS）

ポーラス竹炭の融雪効果

村上碩哉（元東京工業大学）、○篠崎正利（K-BETS）

群馬のナラ林再生

○田中優子（K-BETS）、篠崎正利（K-BETS）、中根周歩（広島大学名誉教授）

ポーラス竹炭を用いた加湿器の開発

○河野通之（K-BETS）、篠崎正利（K-BETS）、福島巖（K-BETS）

世界の水紛争（第2報）

○伊藤規志子（ぶんかサイエンスカフェ）、篠崎正利（K-BETS）

高温排熱を利用する熱発電の開発

○篠崎正利（K-BETS） 児子精祐（NIMS）、目黒奨（NIMS）、中村照美（NIMS）

憩いの森の松枯れ対策

○菊川照英（NPO 法人フォレストぐんま 21）、篠崎正利（K-BETS）

終わりの挨拶

篠崎正利（K-BETS）

■ **優秀講演賞表彰式・閉会式**

15:40-15:55 **優秀講演賞表彰式**

15:55-16:00 **閉会のご挨拶**

2022 生態工学会年次大会実行委員長 半 智史（東京農工大学）